

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第10週(3月3日~3月9日)

平成20年3月13日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.gov/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.gov/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

インフルエンザ情報

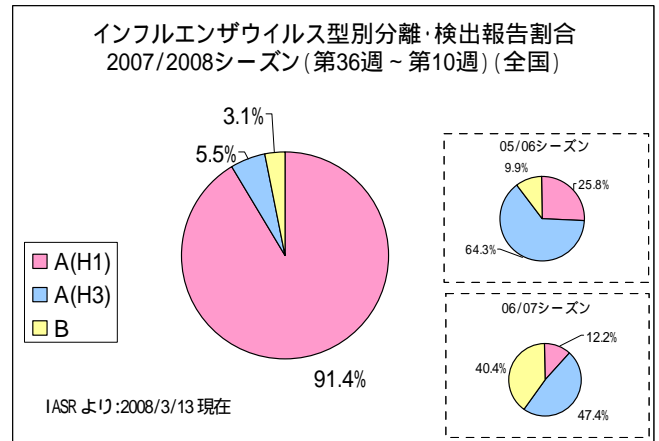
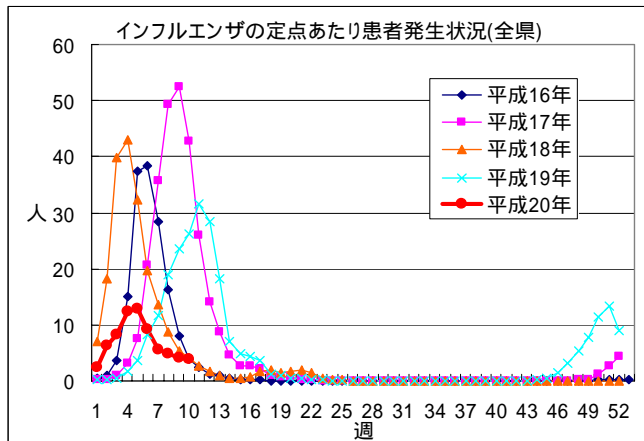
患者数の減少が鈍化。地域によっては先週よりやや増加の傾向も。



全国のインフルエンザの定点あたり患者数は、5.80人(先週7.19人)となり第5週にピークを迎えて以降、減少が続いています。20道県で警報レベル、30道府県(兵庫県含む)で注意報レベルとなっています(第9週現在)。依然として、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をA(H1N1)亜型(Aソ連型)が占めていますが、B型の割合が少しずつ増えています。(第36週~10週)

今週、県内の定点からは患者数750人(先週802人)、定点あたり患者数3.77人(同4.03人)の報告がありました。全国と同様に、第5週をピークとして減少が続いていますが、第7週以降は減少が緩やかになっています。保健所別でみると、全ての保健所管内で注意報レベルである定点あたり患者数10.0人未満となっています。今シーズンは、例年よりも早期にインフルエンザの流行が開始しました。流行のピークは越えたと思われますが、地域によっては増加の傾向もあり今後もうしばらく注意が必要です。

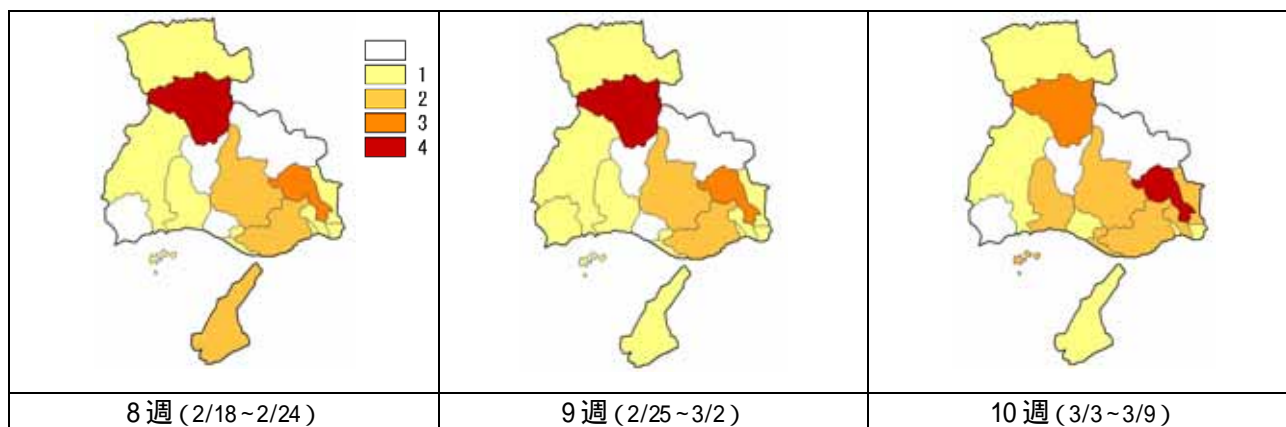
インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



検査情報(県立健康環境科学研究センター)

1月から2月にかけての検体のうち、10検体からインフルエンザウイルスA(H1N1)亜型(Aソ連型)が分離・検出されました。

感染性胃腸炎 先週より患者数がやや増加しました。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週増加しました。例年3月頃までは患者数の多い状態が続きます。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用するなど注意が必要です。厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。 <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

その他の定点把握感染症等の概況

水痘の定点あたり患者数は今週増加しました。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれており、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は3週連続で増加しました。**RSウイルス感染症**は今週減少しました。冬期のピークを終え、今後も減少していくものと予想されます。今週**百日咳**の報告が4名あり、うち1名が20歳以上でした。成人の百日咳は、咳が長く続くものの症状が比較的軽微なため見逃されやすく、周囲へ感染を拡大してしまうこともあり注意が必要です。

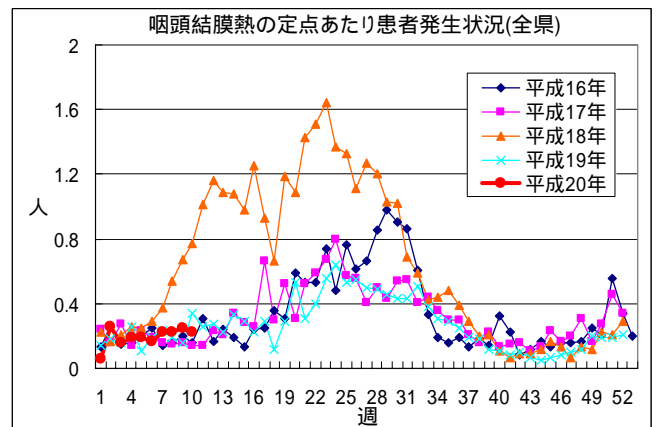
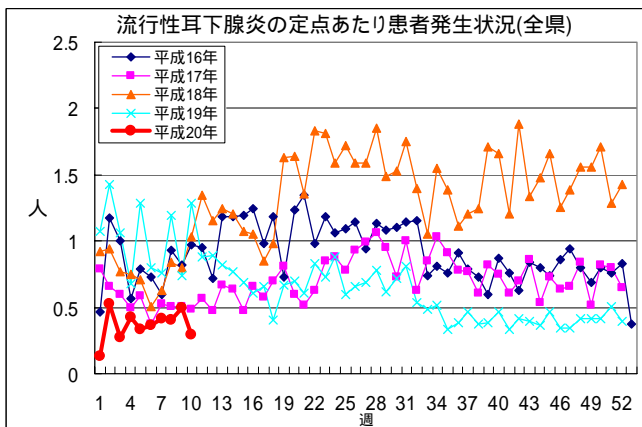
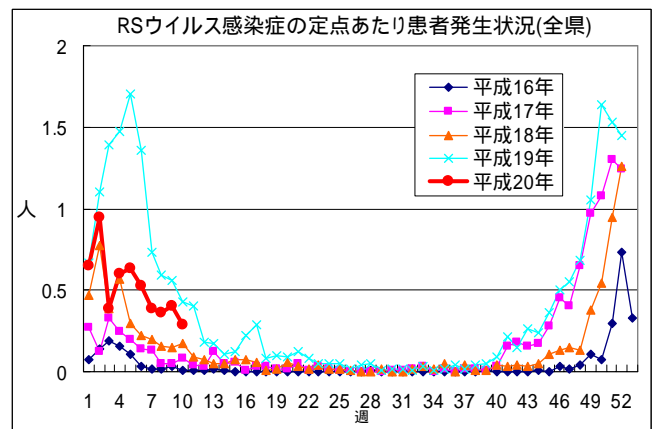
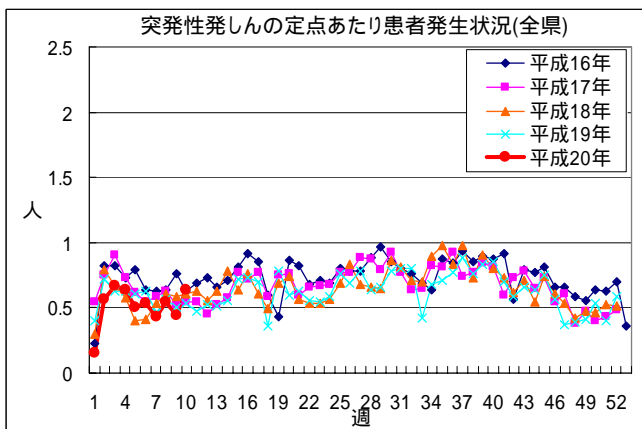
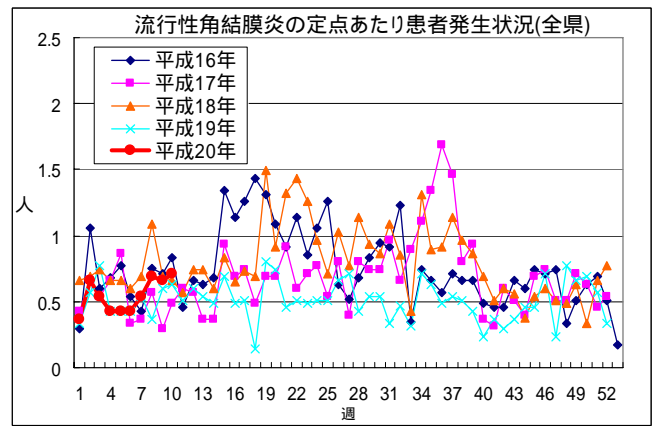
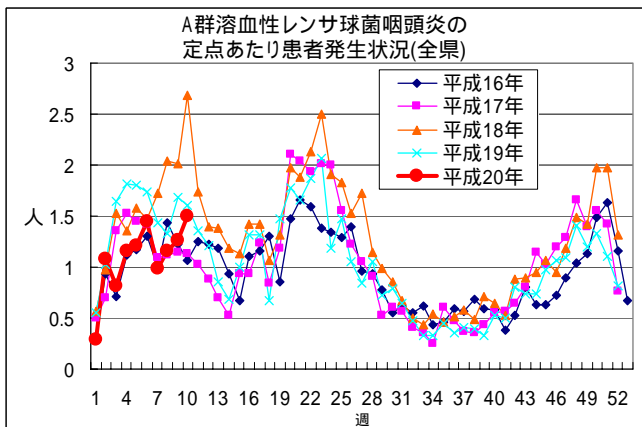
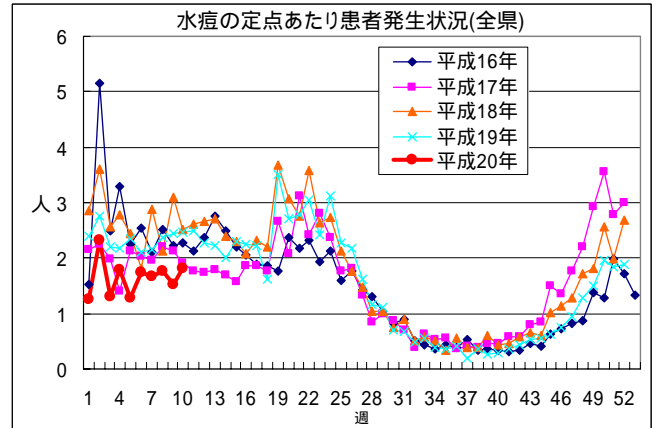
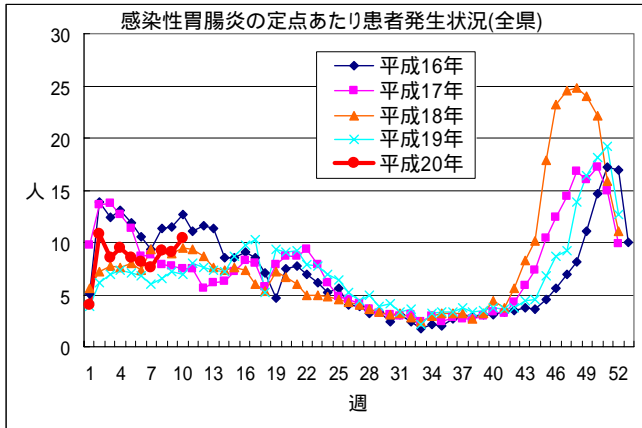
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	10.46	9.11	+1.35	6位	突発性発しん	0.64	0.44	+0.20
2位	インフルエンザ	3.77	4.03	-0.26	7位	RSウイルス感染症	0.29	0.40	-0.11
3位	水痘	1.81	1.53	+0.28	8位	流行性耳下腺炎	0.29	0.50	-0.21
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.26	+0.24	9位	咽頭結膜熱	0.22	0.25	-0.03
5位	流行性角結膜炎	0.71	0.66	+0.05	10位	マイグラー肺炎	0.11	0.20	-0.09

全数把握感染症

- 1 類感染症： 報告はありません。
 - 2 類感染症： **結核 23名** (神戸市6名、尼崎市5名、姫路市2名、西宮市2名、芦屋健康福祉事務所管内1名、伊丹健康福祉事務所管内3名、宝塚健康福祉事務所管内2名、加古川健康福祉事務所管内1名、赤穂健康福祉事務所管内1名)
 - 3 類感染症： **腸管出血性大腸菌感染症 2名** (社健康福祉事務所管内2名：026 VT1+)
 - 4 類感染症： 報告はありません。
 - 5 類感染症： **アメーバ赤痢 2名** (宝塚健康福祉事務所管内；うち1名は海外渡航者)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2名 (神戸市)
後天性免疫不全症候群(無症候期) 2名
麻しん 5名 (神戸市4名；11歳,7歳/ワクチン接種歴無/第9週に報告のあった者の弟,10歳/ワクチン接種歴無,10歳/ワクチン接種歴1回有(0歳時,麻しん単抗原)、芦屋健康福祉事務所管内1名；18歳/ワクチン接種歴無)
- 追加報告：**結核 3名** (尼崎市；第9週、姫路市；第46週、加古川健康福祉事務所管内；第8週)
後天性免疫不全症候群(無症候期) 3名 (第49週,第51週,第9週)
風疹 2名 (西宮市2名；第5週/5歳/ワクチン接種歴無,第9週/4歳/ワクチン接種歴無)

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。